

技術士 第二次試験 模擬答案用紙

受験番号		技術部門
問題番号	人口減少	選択科目：
答案使用枚数	枚目 枚中	専門とする事項：

おり、人々の暮らしを豊かにする可能性を秘めている。しかし、諸外国に比べその活用は十分でなく、各分野に速やかに普及させることが課題である。また、新技術の開発を促すことも重要である。よって、省力化や生活サービスの質を向上させる観点から、いかに新技術の開発を促し、活用していくかが課題である。

2. 最も重要な課題と解決策

「いかに都市の経営を合理化するか」を最も重要な課題として取り上げ、以下に解決策を述べる。

(1) コンパクト・プラス・ネットワークの推進

コンパクト・プラス・ネットワークの推進は、都市施設やインフラのボリュームを適正規模にできること、集約化された都市に対し集中的に公共投資が可能となることなどの利点がある。多極化された生活圏では、歩いて暮らせることや、職住近接といった便益が提供され、自宅付近で生活する時間が増加する。これにより、コミュニティの活性化や、余暇の充実といった副次効果も期待できる。このように、少ない公共投資でサービスや機能を合理的に維持することが可能となる。さらに、経営が悪化する公共交通機関を維持することも重要である。公共交通機関を持続可能な経営とするためには、都市機能が集約された中心市街地と生活圏を公共交通で結び、日常の移動を徒歩や公共交通にシフトさせることが必要である。

(2) スマートシティの推進

技術士 第二次試験 模擬答案用紙

受験番号		技術部門
問題番号	人口減少	選択科目：
答案使用枚数	枚目 枚中	専門とする事項：

	都	市	の	経	営	を	合	理	化	す	る	た	め	に	は	、	分	野	横	断	的	な	取	
	り	組	み	を	進	め	、	各	施	策	の	有	機	的	な	連	携	を	促	す	。	こ	の	連
	携	を	促	す	ま	ち	づ	く	り	と	し	て	、	ス	マ	ー	ト	シ	テ	ィ	ー	を	積	極
	的	に	推	進	す	る	。	ス	マ	ー	ト	シ	テ	ィ	ー	で	は	、	デ	ジ	タ	ル	技	術
	を	駆	使	し	、	テ	レ	ワ	ー	ク	の	普	及	、	エ	ネ	ル	ギ	ー	マ	ネ	ジ	メ	ン
	ト	、	シ	ェ	ア	モ	ビ	リ	テ	ィ	の	導	入	な	ど	複	合	的	に	施	策	を	講	じ
	相	乗	効	果	を	高	め	、	コ	ス	ト	縮	減	や	サ	ー	ビ	ス	の	向	上	を	図	る
	(3)	民	間	活	力	の	導	入														
	公	共	施	設	整	備	や	公	共	サ	ー	ビ	ス	の	提	供	に	あ	た	っ	て	は	、	
	積	極	的	に	民	間	活	力	の	導	入	を	検	討	す	る	。	民	間	活	力	の	導	入
	に	際	し	て	は	、	P	F	I	、	指	定	管	理	者	制	度	、	S	I	B	な	ど	多
	様	な	手	段	か	ら	、	目	的	に	合	っ	た	適	切	な	手	段	を	選	択	す	る	こ
	と	が	重	要	で	あ	る	。	ま	た	、	事	業	開	始	後	に	お	い	て	も	、	民	間
	事	業	者	の	モ	ニ	タ	リ	ン	グ	を	行	う	こ	と	に	留	意	す	る	。			
	4	.	波	及	効	果	と	新	た	な	懸	念	事	項	へ	の	対	応	策					
	上	記	の	解	決	策	を	講	じ	る	こ	と	で	、	防	災	対	策	の	重	点	化	や	
	共	助	機	能	が	強	化	さ	れ	、	防	災	能	力	が	向	上	す	る	な	ど	安	全	面
	で	の	波	及	効	果	が	期	待	で	き	る	。	反	面	、	行	き	過	ぎ	た	合	理	化
	に	よ	り	、	公	平	性	の	欠	如	や	格	差	が	生	じ	る	と	い	っ	た	懸	念	が
	生	じ	る	。	例	え	ば	、	デ	ジ	タ	ル	情	報	弱	者	な	ど	に	対	し	て	は	、
	十	分	な	サ	ー	ビ	ス	が	行	き	届	か	な	い	状	況	が	発	生	す	る	。	対	策
	と	し	て	は	、	緩	や	か	に	合	理	化	を	進	め	る	こ	と	や	、	施	策	の	効
	果	検	証	、	新	た	な	課	題	発	生	の	有	無	な	ど	事	業	状	況	を	注	視	し
	評	価	を	適	切	に	行	う	な	ど	P	D	C	A	サ	イ	ク	ル	を	構	築	す	る	こ
	と	が	重	要	で	あ	る	。																以

●裏面は使用しないで下さい。 ●裏面に記載された解答は無効とします。

24 字×25 字